

[illegible]

若愧若驚同

三

ふ  
は口頭、書面、印刷物を以て  
明示若は默示の契約により  
幫助、獎勵勸誘を受け合衆

その取組は、**「若干の制限を附せらるゝ事**

發送一萬九千九百四十二噸  
萬零五百零一噸引込線扱養

送五千  
より節約  
以て、  
贅澤等  
は差

右不動產所有者 金車

昌錫也  
基周  
**債券**  
未封  
工

美

[illegible]











桃川如燕口演  
浪上義三郎速記

A black and white illustration depicting a scene from a Japanese narrative. On the left, a man in a dark, patterned robe is kneeling on a tatami mat, bowing forward in a respectful gesture. On the right, an older man with a white beard, wearing a light-colored robe, is seated behind a low, square table. On the table are a teapot and two cups. The background shows a simple room with a wall decorated with a circular pattern. The style is characteristic of traditional Japanese woodblock prints.

てお受けをいたし二代目右衛門を総料理の者を四五人召伴れて上京いたし京都数町の山崎に佐方へ宿を取り翌日二條のお屋敷へ出まして所司代丹後守にお目通りをいたし、結末の家が附近にて金閣寺へ参つて下宿分をいたしまして處分五郎は驚きまして大驚き云つて若夫は是とぞと思はなかつた。鐵側などは朽てしまひ天井なども落ちてゐるで昔の型はありません、最も所司代より金閣寺の繪圖面はあつて申して居りますけれども、思ふ殿様の居た館には其の繪圖面も役には立ん、第一千鳥織などよいものがありますが、拙五郎は是でに手振られたこともなく何う推して宜いものやら判らない然し一旦お受けをいたした以上は出来ないと云つて辭退する譯に

其は内匠の内匠の許へ参つたのあります、京都を立つて飛騨山崎へ参りましたが内匠の内匠相違ひ参見して居ります、其の御土産を持て参り、其の對方今なさい、オヤ甚五郎か、能く來なさい、海に御無沙汰いたしました毎時御機嫌宜しう、内、

豊平壯健だよ、京東四町目、電話〇六九

乳牛御用岡野牧場

其何より結構、それに就きて今度私が公儀より金閣寺の普を命せられました京都へ参つてを命せられました、内、それは結構、何りますので、内、

しやお前の聲になることだから折つて遠が宜い、其處で私が困つたことがあるが千鳥織いふのがありますが未だ手掛け

[illegible]



寒夜に二服  
 女の命の母  
 服のは惣身温まる  
 三服五服(金貨有名)にあり  
 本館東京橋本町笹岡薬房


定例  
東京  
山田安  
民衆  
本館  
大  
山田安  
民衆

# かぜをひいた

# キナピリン

一番  
よる  
かぜをひいた

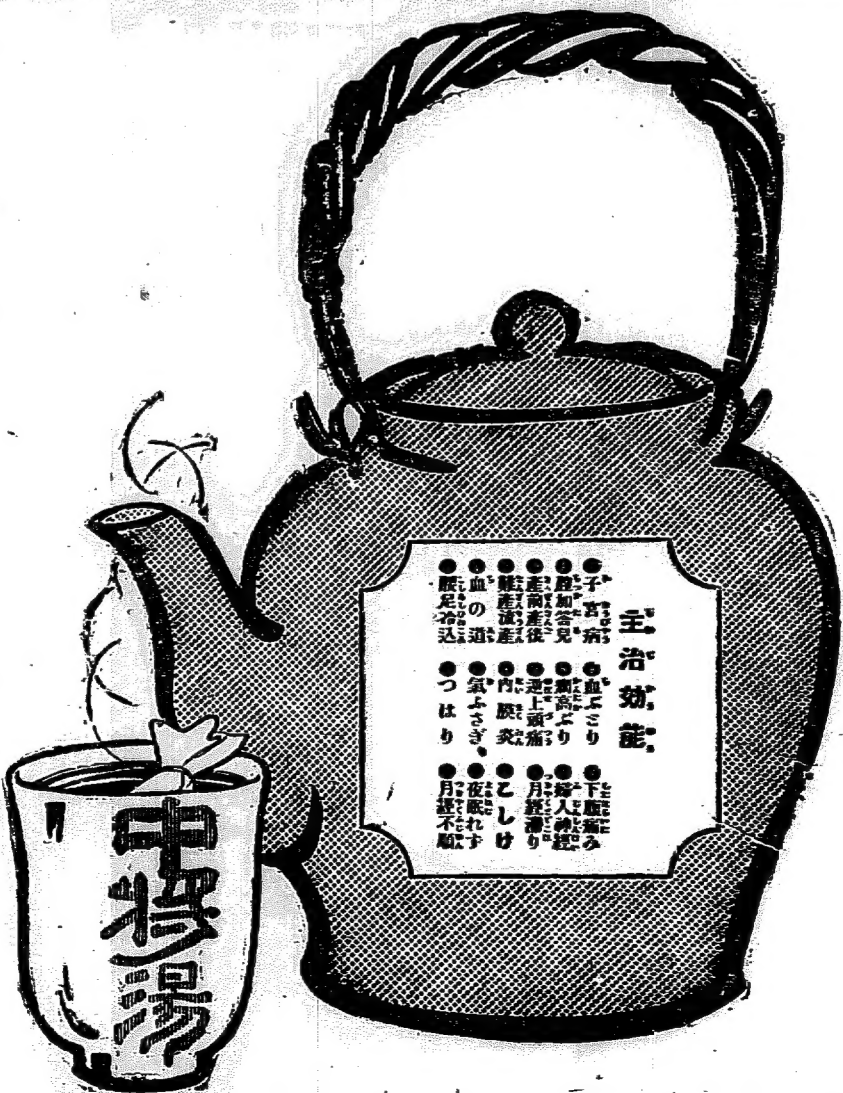


[illegible]

湯將中は薬道の血

こんなにヨクキクのです

和漢藥の初めに日本に用ひられたのは遠く二千年前の奈良朝時代からのことである。祖先はこれに據つて疾病を救治して居つた。ところが一たび西洋醫學が輸入せられて、和漢藥は科學を根柢とせざる草根木皮であることゝんじられ去られたのである。しかし實際の如きといふと、さういふ出来ぬ偉力は、いつまでも和漢藥を世に埋れては置ない。例は熱帯中藥の如きは、學理的の説明が何うあつても、こなキモノのある重寶を用ひずにはならぬといふので、洋藥流行の潮流に逆行して年々益々その科學の實用性を吟味した。これらの事實が先驅となつて、純理的の知識圖にたる歐米の學者までが和漢藥の發見に着手するといふ有様になり、中將湯の傳説は驚くべき程に本國せられる時代になつた。



東京市日本橋區通四丁目  
津村順天堂本店  
電話 本局六二・六三  
振替東京六〇〇八番  
大森市堺町大寶寺町  
津村順天堂支店  
電話 南二五番  
振替大原四五六番



日七十月二  
 (頁八てせ併刊夕朝)

三三二〇	▲十六日後場	五錢六錢	仁川 豆取 九升
三三二〇	大阪府止め小安く後寄廻はにざろ	五錢六錢	
二六〇〇	入電にて當地は中	五錢六錢	
二六〇〇	先より七錢と五錢生に	五錢六錢	
二六〇〇	先より七錢と五錢生に	五錢六錢	

(二) 支那人支那

日本人が、支那を知らぬのみならず、今日の所、支那人も亦た、

美濃部總裁講演

にして之が爲め各國は交戦中の  
 競争を戦後に對する準備を怠  
 る種々の施設を企て以て戦後生

△改善擴張を圖らざる

要件は海外銀行の活動なること  
 示すものにあらすして何ぞや今  
 の内重なるものを舉ぐれば先づ  
 函に於ては昨年既に英商貿易銀  
 (British Trade Corporation) (公  
 資本金一千萬磅其内二百五十萬

英國製造業者の爲に海外に於ける  
諸般の事業に對し金融上の便宜  
與へんとするに在り』と云ふ事

中して  
 資力の充實を詔り其  
 見るべし如選に於ける計畫に依  
 是今日に於て之を詳ににするに  
 なきも國內大銀行は其資本を  
 運の如く無數の海外銀行を有す  
 に拘らず更に上述の一機關係を  
 りんとす其の志の存する所は固  
 びんとす

博士等の主唱に依り一大輪  
義行設立の計畫あり、又佛國、

此の種の施設に著手しつつあるを見るなり米國の海外銀行は彼の數も少なく且つ業務亦素人の御ありたるも開戦以來米國の股販と共に對外食の必要に股に註めらるゝに至り開戦の翌九一五年紐育ナシヨナル、シ



この特に中流階級の住宅を

案採用の實行者、比較的多數  
の可きを豫期せるが爲めであ  
る。茲に應募者諸君の參考に  
爲め、左に我前今次の募集  
要旨を摘載す。

募規  
た附せられたし、  
れたし、但し入選の  
（五）締切期は三月

<p>賞懸</p> <p>一等賞 金 三等賞 金十</p>	<p>定</p> <p>賞金 金十</p>
-----------------------------------	-----------------------

評曰：構思精細，結七字最妙。

評曰：幽致可喜，  
新平雅會。安永春甫  
並圖久益相親。把臂倚樓大  
春。其間入眼魚波碧。野梅含  
年如大賓。文章報。期千古。第  
年如大賓。文章報。期千古。第

此の武烈の旦那も昔様の宅へ  
泊りなつて例の竈屋の話しも  
承知なんだ、おいらの竈屋では

阿放一言も言ひ進してやらねわねわと云ふ。畜生、お、珍、

◆提案 中一計七人、春、坊の立案、平面圖、正面圖、

工費 坪當り百圓内外と  
特案 特に防寒設備を施  
たる構造部分の詳細の圖  
及び説明書  
寒度 京城より廣兩地方

者ハ其設官君ニ定ず仕任氏名を所記せら  
し擧去の際ハ希<sup>レ</sup>ニ依リ臣名ヲ更ヘナシ  
五日とす<sup>二</sup>ハ<sup>一</sup>擧去期ハ來る四月一日

(8) 投票原簿は、あて足せる準を

の製主人返したる一巻より二巻迄四名の

多金の賞銀に依りて考ふるを賜ふ

金(二等分)金五十圓

宛

もしいない嬢がらせを言ふのナ

う。既探偵とは此の時一定建る

逆戻して刑を無事に勤上げる  
だ、こりや天命だから仕方かな  
しかし貴様之から神妙にし下

さないうに氣をつけるなら、  
から此旦に願つて毎月定つた  
を預けて置いて戴いてやる、母  
遠無事に刑期を助上げて秘要  
なら利子ごとそれを受取つて自  
の物にするがよい、如何です  
探偵長は武烈氏に顔を向けて

りや蒼鷹を暴露かれて首を絞ら  
る事だと思へ可いか忘れるな  
親子はまじく、と腹を圓橋と

は、不安らしい眼を國梧の衣裳に、  
 きながら、「私等二人が黙つてゐる多  
 け、且何方、乾き出つてゐる下さ  
 かい」「國梧は思案の様もなく、「  
 りやあ心配にや、及ばない、乾

一語、嘆んできてやるから待つ

た、國橋は心得て驅出した。  
往つてみると瑠璃子は顔を兩  
手理めて俯伏になり神に膝を捧  
ぎてゐた。左右に氣丈な娘も父や  
この生別をさへして歸へきれな  
のか身體は大満に打たれる小舟  
の乗へてゐる。恩吉は片足

「顔」を擧げて、「わい」をります、

瑠璃子に思切つて、宅も一所で  
さいますか、私只今宅の星香を  
きましたのが、或親類人は人に應  
じたるを有つて居る所です、すべて  
は實衛良人がお嘆ひになつて居  
るのです、瑠璃子は何とも師へね  
を託に上したがる態に、さういふ  
を聞きすにつて立上つた、

て父に會ひましやうが、あの  
—— 目じかけて不圖耳を聳て  
かと思ふとはつと身を慄はせて

みた。成程此時彼方から此方々々して迫りて来る足音が聞えて終つて迄に立停つたかと思ふ間もなかなかに徐々々戸を開けて徐に瑞羽子の前に立寄つた人が有つた。言ふ迄に武烈氏が自分で其花嫁を連れて来たのであつた。

要	大	容	内
附錄	▽鑛石分析及鑑定表△朝鮮鑛業令△		
地質學	岩石總論	火成岩水成岩現出の狀態	岩石各層　地殼の發達
礦物通論	礦物の形態	礦物の物理的性質	生成及現出　分析及鑑定
採鐵法	造岩の礦物	鑛石類	脈石類
地質鑛石	鑛石の露頭	金、銅、煤、石油、塩、硫黄、石膏、珪砂、アサニシタロ、 礫、燐、鐵、土、色、鐵山、及、金坑、地、等、特、石	
	地質大要	鑛石の地質的分佈	各地の地質及鑛出

大賣捌 大阪屋號 嚴松堂 日韓書房

鴨綠江產良材を以て本社の建造する汽船、帆船、曳船、漁船、船類は安全第一、眞に海運界の最大權威たり

日本少年

少女の灰

三高等女子學  
正  
入學試驗問題  
直  
厩屋の美談  
少少女訓話  
號  
▲動物世界一周傳  
▲露の千ね問  
▲植物世界一周傳  
▲滑稽道中記

日蓮の爲に、松雲寺遷移正、三〇〇  
 七色捕瑠璃（題）小衫、天外、三〇〇  
 紋袴、米、題、大、五、三〇〇  
 色、功、理想の仕宅、御田寶三、一五〇  
 何、何の雲、防壁、主、防、大、三〇〇  
 能く生活の實感、村、文、題、九〇〇  
 銀行の事務と會計、題、三、一六五  
 織、化学工業製法、一、二〇〇  
 袖、笑、石、典、乃、乃、乃、乃、八五〇  
 大、大、大、大、大、大、大、大、大、大

[illegible]

**乳母入用**

電話九九一番

大津門前  
盛文堂

掛號特設但市內要保人  
番外

恩給年金立替五年迄  
即時取申退料一切手續以上諸費

車輪板口  
雜木各種  
板具用材  
恩給川金  
要安三年  
京永南大  
（燕）御成  
礦物定量  
分拆

朝公論  
横小路  
坂元分拆所  
外事社員 採用相立牧場  
して要するもの履歴書携帶來  
京城南大門通  
一丁目 一八  
大同生命







日當りの悪い不潔な場所を選んでばかり

この「氣」を出来  
費用も比較的安  
便に處付して  
醫師があると思  
ふを而してし  
北向きにするか  
ならは清涼が保たれる、又従  
の間の床の上で調理したもの  
つて仕事の出来るやうに精理  
設けたならば暖房の上に掘め  
いゝ  
△調理をする不  
便さなど

十三日午後二時八分油頭地方に大地震起り全市の家屋過半倒壊し、  
 地形を存するものも危嶮にして到底居住する事能はず今後雨

季に入らば在任外人等に悉く香煙其の價を  
移住する外無き見込みなり死傷者數千名に達し日本  
には死傷者無きも財産上の損害多大なり十四日  
午に至るまで猶ほ露軍絶つて人心恟々として秩序全  
紊亂せり支那軍隊は漸く秩序を維持せんとし

仁<sup>ニ</sup>リ觀<sup>ミ</sup>測<sup>ス</sup>所<sup>ノ</sup>の微<sup>ミ</sup>勢<sup>ヲ</sup>計<sup>ス</sup>に  
陷<sup>ス</sup>落<sup>ス</sup>か火<sup>ノ</sup>山<sup>ヲ</sup>か地<sup>ノ</sup>之<sup>ヲ</sup>りか油<sup>ノ</sup>頭<sup>ヲ</sup>

大津屋の原限、全く申明せず、  
めつて仁川湖、測川の御許計に感  
したるは、十三日午後三時十一分  
り而して、三分五十九秒間の初頭  
顔を續續して、後三時十八分頃、  
至震度五、以上に達したり

微弱となりて漸やく四時三十五  
に全く罷止するに至り此間約一  
間廿四分を要したり之を以て其



▼震源地の距離を測る  
南方約二千里ノモトルに在る  
を以て凡そ南洋方に在るべし  
想惟せられつゝありしが油断の  
虞に即ち此の隙影に外ならず同

細の震動狀態に就ては附近の諸地を俟つに非らざれば判明せず。最今回の遠地々震の微動は最初大

からざりし處なり然れども其の  
類に至つては果して陷る地震な  
る記録を受けたるは約十時に  
て微弱なる餘震を感じたるを以  
其の震源地に於ける大震の  
▼程度は 略推斷するに

現象を認めざるも同地附近  
皮比洋方面一帯は最も震多


絶無なりとは云ひ難かるべし  
▼街幅の狭い  
汕頭市街

人口約十一萬 其内  
人は三百餘あり 交通は概ね海路  
唯潮州に通ずる潮州鐵路公

の經營する鐵道あり市街中支那  
 家屋のある邊は二階三階多く稀  
 四五階あり町幅は六尺若くは十  
 家屋の構造は全部セ  
 ントコンクリートなれば地震若

東京に天然  
豆發生

東京市本郷區駒込に天然痘發生  
患者續出の模様なり(東京新聞)  
すゑさんちうびく

 **水銀中毒**

一家に部屋死す

たるものか水銀と砒素と硫黄とを混合し別に燐藥と蓬とを火皿に置き火し前記の混合藥と共に燐

だるも乾りを吸収するに伴れ苦  
 に堪へず一旦室外に出て再び藥  
 毒分を火鉢に投入し其燄裏に就  
 する當年二歳の子俱山玉が先づ  
 毒藥の中毒にて十四日午前三時  
 命し續て主人基文（父）娘金眞（女）

柳や胡麻も芽ぐんで来た、桃や  
には大分間もあるが洋杖ふり／＼

の背より一ノコギに、  
る、殊に今日は日曜日、昌慶苑  
ぞは最も恰好な遊び場所であら  
水禽室は廣くなるし評判の獅子  
馬もなかくの元氣、博物館  
にて植物園に出ると温室の中に

◆ 京城測候所 に就いて

聞くと一歳程姪の天竺は暑くか  
して暖かいと云ふ方ではないと  
ズつて斯う語つた、十六日午前  
時の気温は攝氏の零下六度五  
氏二十度三で既往十年間の二  
の平均温度に較べると三度ばか

日の七度（華氏四十四度六）に比して五度六の相違である、斯んで今年の二月が

◆特に暖かいと云ふ  
由はないのであるが、では何故暖かく感ずるか云ふと夫には種々の理由がある、元來この頃け寒

著しく寒かつたその後を受け  
からである。然し、今の氣象  
から考へると最う是れ以上の寒

も米さうにない、或は今年は此  
春の季節に入るのであるまい  
② 妙心寺 長沙池 十七日午前十時より  
③ 寶谿寺 大和町三丁目 十七

[illegible]



を出して、赤い色をした練葉

A black and white illustration of a woman in traditional Japanese court attire, standing and looking to the right. She has long dark hair in a ponytail. The background shows stylized trees.

一番宜くき

くアレ止め

せ、髪は亂れ、肉は落ちて、苦悶の色が浮いて見える。そこへ裏口から桐島 表から内面が駆け付けた。「好い藥を載せて参りました婦人が服むと一時に死ぬやうでございますが、藥力が召し上るとなると、病で立ちどころに、急死致すやうでございます。さあ早くお上げなさいまし」云つて宗之助の手に渡した。宗之助の手にふる／＼振る。

「今年は各地共數十年來寒さにて去らでも顔や手先の寒れを氣にやらでも婦人方の困難一方ならオアレ止めには何れ一燈よりかかち」口首に囁かれ、所なる記號を市内の有名な化粧品店に就て調べる所に依れば一品よくきつアレ止かとして發行最も多きは矢張りタカラ白粉店より發賣せよと本林は言ふ。

又し本林は言ふ。

廿四幸室 山田世哲

るクラブ英術クリームなる出此のクリームは本店の故入技師ビー

(電話二八七五)

水山  
(三)  
オンドル會詠草(永堀)

雪するや水仙の葉に傷む白  
水仙の莖に於ける山の埃哉同  
水仙に坐して四山の雲閣同  
水仙に凝る雪大さる水仙花同  
水仙に凝る雪大さる水仙花同  
水仙や死に花粧に被ふ同  
水仙や商女に閑く甚哉蓋同  
處女作に水仙の机か同  
水仙や咄乎の烟る旭の表孤鶴同  
水仙や石より越射庭の朝小猿同  
日當りの水仙に遊ぶ小風山  
餌を撒き荒草に生る水仙花同  
月影宴合ふ水仙花流同  
水仙が喚ぶ水仙月夜窓同  
水仙が統一ばいに豊か否同  
水仙に飽きば水仙水更に同  
石垣に葛の枯葉や水仙花同  
陽過に暮る蕉や水仙花同  
閑の深き息に蕉や水仙花同  
薄日雲水仙花架に於める同  
盗り斬き取つて置けば如何に  
アレ性の御婦人にて決して皮膚  
の荒れに苦まることなきのみ  
にち皮膚の寒を増しし粉の屑を良  
くすること他に其ふべきものなき  
より客にに殊に發行盛にして近  
來に處にても暑氣早し直ぐ切  
切となる大人氣を呈しつゝあり  
といふ皮膚の美を命から二番目の  
御人方へ一寸御進信

2  
3  
4

方の十三  
 力の十三  
 力の十四  
 力の十五  
 力の十六  
 力の十七  
 力の十八  
 力の十九  
 力の二十  
 力の二十一  
 力の二十二  
 力の二十三  
 力の二十四  
 力の二十五  
 力の二十六  
 力の二十七  
 力の二十八  
 力の二十九  
 力の三十

[illegible]

**誹評**  
可黒四の打込は先づ四二に飛ん、一掃込むべし。若し強みに  
て打込まざれば三の三に打つ方可なり。△黒二十の趣向則白から  
六に飛びて打つべし。四二は二七に押へ置くべく。△黒三十は  
に粘り可し。△黒四十の歌きは愚し。却て押を強くするの嫌あるを以て  
て打たざるに如かず。△黒四六は打過なし。此處白六に飛びて安全な  
謀らざる可からず。△黒四六味あるし五二に粘きて確實に打つべし。  
第五四大目に怒るじ。白五五と控へられては勢既に窮す。此の一

るじうつくよ ブラナニセツ

**丸 通 健**

▽健通丸が  
必要なる証△

便秘は胃病を起し腸  
を犯し頭痛神經痛或  
は婦人病を重らす其  
害毒は甚だ恐るべ  
きである然るに  
健通丸は此恐るべき  
便秘症に對し可驚効  
能有るが故である

各地支店にあり 十銭以上

大正十一年五月

大正十一年五月

**書籍御案内**  
 日本三 商工 宗 上下 日 郵 五  
 家庭 放 修 學 行 商 日 記 郵 三  
 同 修 育 市 街 地 所 對 九  
 風 城 日 報 堂 目 目

**京城日報代理部**  
 電話 東京 三三六  
 振替 日 東京 三三六

**百圓進**  
 論 三 內 二  
 合 三 內 二  
 合 三 內 二

**帝國醫科大學**  
 院 病  
 對 二 會 醫 對 二 會 醫  
 對 二 會 醫 對 二 會 醫

**大府有田**  
 販 販  
 販 販

**大阪商會**  
 販 販  
 販 販

**大府有田**  
 販 販  
 販 販

**大府有田**  
 販 販  
 販 販

**白鶴**  
 店酒本  
 目 丁 三 町 本 川 前  
 番 九 〇 一 〇 電

**日本郵船出帆**  
 大 三 船 三  
 高 三 船 三  
 高 三 船 三

**足盛汽船出帆**  
 大 三 船 三  
 高 三 船 三  
 高 三 船 三

**釜山出帆廣告**  
 大 三 船 三  
 高 三 船 三  
 高 三 船 三

**共同汽船出帆**  
 大 三 船 三  
 高 三 船 三  
 高 三 船 三

**大阪商船會社**  
 大 三 船 三  
 高 三 船 三  
 高 三 船 三

**共同汽船出帆**  
 大 三 船 三  
 高 三 船 三  
 高 三 船 三

**共同汽船出帆**  
 大 三 船 三  
 高 三 船 三  
 高 三 船 三

ライオン歯磨油  
 支店 小松 第一 次 店  
 支店 小松 第一 次 店

品質の純良を  
 愛せらるゝ諸君は  
 歯磨の選擇に於て、皆悉く  
 ライオン歯磨油を採り給ふ。  
 是れ、ライオン歯磨の歯牙衛生に最適なる事は  
 全國齒科醫諸氏の推奨によりて明かなればなり。

ライオン歯磨油  
 LION  
 SANITARY DENTIFRICE  
 SUPERIOR-QUALITY  
 MADE IN JAPAN